

専修大学LLだより

目次

特集 LL 教室開設40周年

歴史と伝統 (LL 研究室長 三浦 弘)	2
写真で見る LL 教室40年の歴史	3
英語を活かした仕事に就きたいなら、まずはLL 教室を利用しよう! (卒業生 伊藤 那美子)	5
LL インフォメーション	6
(新着教材紹介、年末・年始の LL 自習室利用について、LL 教室ホームページ)	



1964年 LL 教室授業風景

LL 研究室

歴史と伝統



LL 教室の開設は 1964 (昭和 39) 年で、今年 40 周年を迎えました。1964 年という年は 10 月

10 日 (後の「体育の日」) から東京でオリンピックが開催されました。それに併せて首都圏では建物や道路が整備され、東京と大阪を結ぶ東海道新幹線が開業し、白黒テレビが一般家庭に急速に普及しました。高度経済成長時代の幕開けです。

そういう時代に LL 教室という最先端の施設が作られたということは、まさに伝統のある大学 (本年創立 124 年) の力であり、国際化しつつあった時代の要請に応える人材を社会に輩出しようという教育理念の現れでした。当時、全国の教育機関で LL 教室があったのは、わずか 48 校に過ぎませんでした。生田キャンパスの 2 号館 2 階 (現在の 221 と 222 教室辺り) にオープンリールテープとレコード盤をメディアとする LL 教室、椅子にイヤフォンのついた「ヒアリングルーム」、さらに録音室と編集室を備えた最新機器で語学教育界の注目を浴びました。

1973 (昭和 48) 年には、神田でも、新校舎 (現在の 1~3 号館) が落成し、地下 1 階の現在の場所に LL 教室が設置されました。中央に調整室を置き、左右対称に 2 つの LL 教室を配置するという、本学独自の「センター・コミュニケーション・システム」を導入しました。現在の教室後部にある柱はその区画の名残です。

その後、LL 教室は生田で 4 回、神田で 2 回、機器の更新を行い、変化の著しいハードとソフトとメディアに対応して、常に最新のものを設置し、併せてより良い環境の整備とテープライブラリーの教材の充実に

心がけ、授業のみならず、学生の皆さんの自習支援を行ってきました。ちなみに生田の LL 教室が現在の 1 号館地下に移設されたのは 1981 (昭和 56) 年のことです。今後も LL 教室の増設と LL 自習室の拡充に向けて発展させたいと思います。

今秋 10 月 5 日 (火) に LL 教室開設 40 周年記念行事として、教員向け講演会、及び、法人役員とこれまでの LL 教室にゆかりのあった教職員が集う記念式典を開催しました。祝辞の中で、日高学長も開設 3 年目の LL 教室で学んだ思い出をご披露されました。

アトラクションとして「写真で見る LL 教室 40 年」というプレゼンテーションを行いました。そのスライド (33 枚) を LL 教室のホームページで公開しています。先輩方が学んだ歴史の変遷がわかりますから、是非ご覧ください。

外国語の学習環境は時代とともに良くなってきました。しかし、その習得のための努力は単に環境に比例して軽減されるわけではありません。自分自身の目的と意志が何よりも大切です。恵まれた環境の中で、伝統のある大学で学んでいるという誇りと、社会で活躍している卒業生の後に続くという自信をもって努力してください。

LL 研究室長 三浦 弘



下記ホームページで「写真で見る LL 教室 40 年」を閲覧できます。

<http://www.gkk.senshu-u.ac.jp/1140/1140.pdf>

写真で見る LL 教室 40 年の歴史 1

1964 年～ LL 教室開設

1964 年（昭和 39 年）4 月、生田キャンパス 2 号館 2 階に LL 教室が開設。

当時、全国で LL の設備を持っている学校は、大学、高校、中学全体を通して 48 校しかありませんでした。LL 教室、ヒヤリングルーム、録音・編集室など最新鋭の設備が導入され、注目を浴びました。



開設当時の教室の様子



1976 年当時の授業風景

1976 年～ LL 教室の拡張

1976 年（昭和 51 年）ヒヤリングルームを改装し、LL 教室が増設。2 つの教室になりました。

1981 年～ LL 教室の移転

1981 年（昭和 56 年）LL 教室は現在の 1 号館に移転。教室の数も 5 つに増え、現在の形にかなり近づいてきました。



1981 年当時の B 教室での授業風景



1996 年当時の B 教室での授業風景

1996 年～ 授業の充実

パソコン設備なども導入。また英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語の 6 ケ国語に加え、インドネシア語、日本語、韓国語が加わり、LL 教室での授業は多彩になってきました。

写真で見る LL 教室 40 年の歴史 2



現在の A 教室の様子

2001 年～マルチメディアに対応した授業へ

2001 年（平成 13 年）9 月、生田・神田ともに、IT 時代にふさわしくマルチメディアに対応した LL システムが導入され、現在の形が完成しました。

1973 年～神田 LL 教室の開室

1973 年（昭和 56 年）創立 100 周年記念事業として、神田キャンパスにも LL 教室が設置されました。



1999 年当時の神田 LL 教室での授業風景



現在の神田 LL 教室での授業風景

2001 年～神田 LL 教室の充実

1988 年（昭和 63 年）の改修・機器更新を経て、2001 年には生田キャンパスと同じ設備を持つ LL 教室となり、今日までみなさんに親んでもらっています。

みなさんの LL 教室に

さらに使いやすい機器の導入、一層充実した自習室などを目指し、LL 教室は生田・神田ともにこれからも進化していきます。今後ともぜひ、LL 教室をみなさんの勉強に役立ててください。



現在の生田自習室の風景

英語を活かした仕事に就きたいなら、まずは LL 教室を利用しよう！

みなさん、こんにちは！ 私は国際英検 G-TELP(ジーテルプ)日本事務局の伊藤と申します。2002年3月まで本学、文学部英米文学科(現 英語英米文学科)に籍をおいていました。

大学時代、授業で LL 教室を利用したのは、実は 1 年次の『リスニング』の 1 授業のみだったのですが、そこではリスニング教材が付いたテキストを用い、各章の終りに内容確認テスト、ディクテーション(聞こえた音声をそのまま書き取ること)をしました。ディクテーションは限られた時間の中で正確に聞き取って書く訓練ですので、これでかなり力がついたと思います。また LL 教室では自分の発音をテープに録音して何度も聞き直せる設備がありましたので、発音の矯正に役立ちました。2 年次からは履修の関係上、授業内での利用はありませんでしたが、学科の友人と一緒に LL 自習室にたびたびお邪魔していました。LL 自習室には語学教育の教材が揃っており、また気分転換がてら映画のビデオ(字幕なし)を見るなどして、よい勉強になりました。今でも洋画を見るときは吹き替えでないものを選び、なるべく耳を慣らすようにしています。

私は今、冒頭で触れた G-TELP という英語テストの営業をしています。G-TELP は主に大学・短期大学にて英語のクラス分けテストとして使われており、本学、英語英米文学科でも年 2 回実施されています。(英語英米文学科の学生さんは、4 月と 10 月のテスト受験後に、英語で書かれた成績表を受け取ったことがあるでしょう？ あのテストです。)仕事で英語をつかう機会はアメリカにある製作元やネイティブの先生とのやりとりが主になりますが、その際専攻の授業や LL 自習室で身に付けた英語力が大変役に立っています。

また、大学の先生方から英語教育に関するお話をうかがう際のベースにもなっています。G-TELP をとおして、卒業後も母校の英語教育に携わっていただけることを幸せに思っています。

現在、教育の世界では「ユビキタス」という言葉がキーワードの 1 つになっています。簡単にいうと「いつでも、どこでも、誰でも」という意味だそうですが、学校、授業という形態に捉われず、学びたいと望めば時間と場所を選ばずに誰もが学べるようになるのは素晴らしいことだと思います。ユビキタスを実現するために各大学が着目しているのが e ラーニングや CALL(コール)ですが、もし専修大学でそのような動きがあるとなれば、LL 研究室が大きな役割を果たされると確信しています。

英語に代表される言語のスキルは、使っていないと簡単に衰えてしまうとよく言われます。特に卒業後、LL 自習室を利用しなくなってからはリスニング、スピーキング力が落ちたことを痛感しています。大学時代に身に付けた語学力を実社会で使い続けていきたいとお考えの学生さん、これからもぜひ LL 室を“食欲に”利用して行ってください！

最後に、卒業生として、専修大学の語学教育がますます充実、発展されることを切に願ってやみません。ありがとうございました。

伊藤 那美子(H14年 文学部卒業)



(参考)国際英検 G-TELP のホームページ : <http://www.g-telp.jp>

LLインフォメーション

新着教材紹介

最近、LL自習室は映画やテレビドラマによる外国語学習者で溢れています。なかでも『24』に人気が集中しています。24時間分見終わる頃には、リスニング力が向上していると思われます。あなたも挑戦してみませんか？

DVD教材

==英語==

- ・24 -Twenty Four- season 1・2 (Joel Surnow 他監督、20世紀FOX 発売)
- ・007 ドクターノオ (Terence Young 監督、20世紀FOX 発売)
- ・死ぬまでにしたい10のこと (Isabel Collet 監督、松竹株式会社事業部 発売)

==日本語==

- ・北の国から 87 初恋 (倉本聰 原作、フジテレビ映像企画部 発売)
- ・生きる (黒澤明 監督、東宝株式会社 発売)

==中国語==

- ・北京ヴァイオリン (フィン・カゴ 監督 ジェイコ 発売)
- ・西洋鏡 (アノア 監督、株式会社カク 発売)

その他各種検定教材

- ・通訳案内業(ガイド)国家試験問題集 (ロイヤル出版 2004)
- ・独検試験問題集 (三修社 出版 2004) **新方式対応**
- ・ハングル能力検定試験問題集 (ハングル能力検定協会 出版 2004)
- ・HSK・・・水平考・模・・・集 初中等(北京大学出版社 2000)

年末・年始のLL自習室利用について

12月26日(日)～1月6日(木) 閉室(生田・神田共通)

1月7日(金) 9:00～16:45 生田校舎

〃 9:00～20:45 神田校舎(LL自習室)

が閉室している時は教務課・二部事務課窓口にて申し出てください)

1月8日(土)～1月17日(月) 生田・神田共に
通常の利用時間

* 学年末試験・春期休暇期間(1月18日～)のLL自習室利用時間については次号のLLだより、LL教室ホームページ、掲示等でお知らせします。

LL教室ホームページについて

LL教室ホームページの『授業担当教員ホームページ』がリニューアルしました。授業科目の「シラバス」や、授業と関係した「語彙練習問題」、「予習・復習」のページ等、先生方が独自に作成したページにリンクしています(注意:LL授業担当教員全員ではありません)。活用してください。

<http://www.gkk.senshu-u.ac.jp/webLesson/index.htm>



編集後記

LL教室40年の歴史を引き継ぎ、いっそう実り豊かなものにするのは、ここを利用する皆さんです。これからもどんどん来て下さいね。(N)

専修大学LLだより 第25号

発行日 2004年12月10日
(平成16年)

編集発行 専修大学LL研究室
室長 三浦 弘

〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1

URL:<http://www.gkk.senshu-u.ac.jp>

* 上記ホームページで「LLだより」をカラーで見られます。